

## 働くことについて

教皇ヨハネ・パウロ二世 回勅

世界の各地で、各国で、国と国の間で社会正義を実現するために働く人の連帯、そしてまた、働く人との連帯のいつも新しい運動が起こってくる必要があります。働く主体が格下げされ、働く人が搾取されたりすることのため、貧困と飢えの地域が拡大していくことのため、このような連帯が求められるときはいつも手の届くところになくてもなりません。この共通の戦線のため、教会は身を引くことができないほどしっかりかかわっていかなくてはならないと自覚しています。教会にとってそれは使命であり、奉仕であり、キリストへの忠実の証拠であって、こうしてこそ教会は真に「**貧しい人の教会**」になれます。

# 8 1981年

